

あそびのたね

第10回「もよう—模様」 安宅未希

「なぜ、銀なのに表面がつるつるピカピカしていないのですか?」と私の銀の作品を見てくださった方に聞かれることがあります。銀だけでなく、金属で作品を作る時に、必要に応じて磨くこともあります。作品全体の表情や表現のために、表面を目的に合わせて、色々な模様を入れています。

だいたい、使用する金属の表面を、金づちのたたき面に模様を付けた「あらし金づち」でまんべんなくたたきことで、やわらかかったり、粗かったり、その時に欲しいベースになる表情を付けます。これは、布や紙に、スタンプや版で模様をびっしりと押しつけていく作業と同じです。そこから切り出したり、

さらに模様を入れたり、組み合わせたりして作品にしています。

今回は、ボタンやブローチが並んでいます。シンプルな、やわらかい印象の「あらし」模様の他に、表面に何も模様のない金づちでたたいた「槌目(つちめ)」模様、「あらし」模様に加えて「鑿(たがね)」や刻印で模様を付けたもの、銅版画の版を作るのと同じ「エッチング」技法を使ったもの、表面に銀箔を「象嵌(ぞうがん)」したもの、作りたい模様を「プレス」して付けたものなど、色々な方法で表面に模様を付けています。素材は銅、真鍮、アルミを使っていて、素材の違いによっても模様の印象も変わりますね。



鑿(たがね)



象嵌(ぞうがん)



プレス



あらし



槌目(つちめ)



エッチング



◆安宅未希(あたくみき)

兵庫県姫路市生まれ。多摩美術大学立体的デザイン科クラフト専攻金工卒業。東京芸術大学大学院美術研究科彫金修了。1998年から、埼玉県の自宅兼工房で金工作品、アクセサリー製作、個展、グループ展に参加。布でも作品を作り、羊毛とは中学生の時から途切れ途切れに付き合いながら、2005年よりフェルト作品も手がけるようになる。現在は、金工作家、フェルト作家として活動している。

- 10月26日～29日 マジヨレルの手仕事展 "pois(水玉)" 東京都世田谷区 アンティークギャラリーカフェマジヨレル
- 11月7日～12日 プラスモード "フェルトと金工の3人展" 香川県高松市 ギャラリーミヤワキ
- 12月5日～10日 ランミンヨウル "あたたかいクリスマス展" 東京台東区 ギャラリーTen
- 12月9日～17日 ウールフェスタ 大阪市泉南郡 ギャラリー猫亀屋
- 2024年1月10日～28日 作家の干支展 京都市中京区 ギャラリーにしかわ